

# 経営状況等に関する文書

(令和4年6月8日)

山梨県道路公社

## 目 次

1	定款	-----	1
2	出資者及びその出資した金額	-----	7
3	役員名簿(令和4年4月1日現在)	-----	8
4	令和4年度事業計画書	-----	9
5	令和4年度収支予算書	-----	11
6	令和3年度事業報告書	-----	16
7	令和3年度貸借対照表	-----	18
8	令和3年度損益計算書	-----	19
9	県からの財政支出の状況(令和3年度)	-----	20
10	法人が対処すべき課題と取り組み状況	-----	21
11	主な資産及び負債の明細	-----	23
12	職員数及び職員の給与に関する情報	-----	27

# 山梨県道路公社定款

(平成5年6月1日 認可)  
改正 平成6年8月26日変更認可  
平成7年3月16日変更認可  
平成7年9月13日変更認可  
平成8年12月19日変更認可  
平成9年2月10日変更認可  
平成9年8月29日変更認可  
平成13年12月25日変更認可  
平成17年3月31日変更認可  
平成18年5月24日変更認可  
平成19年10月12日変更認可

## 目 次

第1章 総則（第1条～第5条）

第2章 役員及び職員（第6条～第12条）

第3章 業務及びその執行（第13条・第14条）

第4章 道路の整備に関する基本計画（第15条）

第5章 基本財産の額その他資産及び会計（第16条～第22条）

第6章 雑則（第23条）

## 附 則

### 第1章 総 則

#### （目 的）

第1条 この道路公社は、山梨県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とする。

#### （名 称）

第2条 この道路公社は、山梨県道路公社（以下「道路公社」という。）と称する。

#### （設立団体）

第3条 道路公社の設立団体は、山梨県とする。

#### （事務所の所在地）

第4条 道路公社は、主たる事務所を山梨県甲府市に置く。

#### （公告の方法）

第5条 道路公社の公告は、山梨県公報に掲載して行う。

## 第2章 役員及び職員

### (役員)

第6条 道路公社に役員として、理事長1名、副理事長1名、理事5名以内及び監事2名以内を置く。

### (役員職務及び権限)

第7条 理事長は、道路公社を代表し、その業務を総理する。

2 副理事長は、道路公社を代表し、理事長が定めるところにより、理事長を補佐して道路公社の業務を掌理し、理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長が欠員のときはその職務を行う。

3 理事は、理事長が定めるところにより、理事長及び副理事長を補佐して道路公社の業務を掌理し、理事長及び副理事長に事故あるときはその職務を代理し、理事長及び副理事長が欠員のときはその職務を行う。

4 監事は、道路公社の業務を監査する。

5 監事は、監査の結果に基づき、必要があると認めるときは、理事長、国土交通省関東地方整備局長又は山梨県知事に意見を提出することができる。この場合において、国土交通省関東地方整備局長に提出する意見に関する書類は、山梨県知事を経由しなければならない。

### (役員任命)

第8条 理事長及び監事は山梨県知事が任命する。

2 副理事長及び理事は、理事長が山梨県知事の認可を受けて任命する。

### (役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。ただし、補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

2 役員は、再任されることができる。

### (役員兼任の禁止)

第10条 理事長、副理事長又は理事は監事を、監事は理事長、副理事長又は理事を兼ねることができない。

### (職員任命)

第11条 道路公社の職員は、理事長が任命する。

### (役員及び職員兼職の禁止)

第12条 役員及び職員は、任命権者の許可を受けなければ営利を目的とする団体の役員となり、又は自ら営利事業に従事してはならない。

### 第3章 業務及びその執行

#### (業務の範囲)

第13条 道路公社は、第1条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 山梨県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路（道路法（昭和27年法律第180号）第3条に規定する道路のうち高速自動車国道を除く。第15条において同じ。）の新設、改築、維持、修繕、道路法第13条第1項に規定する災害復旧その他の管理を行うこと。
- 二 国、地方公共団体、中日本高速道路株式会社若しくは他の道路公社（第六号において「国等」という。）の委託に基づき前号の道路の管理と密接な関連のある道路（道路法第3条に規定する道路をいう。第六号において同じ。）の管理を行い、又は委託に基づき土地区画整理法（昭和29年法律第119号）に基づく土地区画整理事業のうち地方道路公社法施行令（昭和45年政令第202号。以下「施行令」という。）第3条で定めるものを行うこと。
- 三 第一号に規定する地域において、その利用について料金を徴収することができる自動車駐車場の建設及び管理を行うこと。
- 四 第一号の道路の円滑な交通を確保するために必要な休憩所その他施行令第4条で定める施設の建設及び管理を行うこと。
- 五 前各号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。
- 六 前各号の業務の遂行に支障のない範囲内で、国等の委託に基づき、道路に関する調査、測量、設計、試験及び研究を行うこと。

2 道路公社は、前項の業務のほか、山梨県知事の認可を受けて次の業務を行う。

- 一 前項第一号の道路の新設又は改築と一体として建設することが適当であると認められる事務所、店舗、倉庫その他施行令第5条で定める施設を建設し及び管理すること。
- 二 委託に基づき、前号の業務を行うこと。
- 三 前二号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。

#### (業務方法書)

第14条 道路公社の業務の運営に関し必要な事項は、この定款に定めるもののほか、業務方法書の定めるところによる。

### 第4章 道路の整備に関する基本計画

#### (道路の整備に関する基本計画)

第15条 道路公社は、次の路線に係る道路を新設し、又は改築して料金を徴収する。

路 線 名	管 理 区 間
一般国道140号	埼玉県秩父市大滝から 山梨県山梨市三富川浦まで

2 道路公社は、次の路線に係る道路の維持、修繕及び災害復旧を実施して料金を徴収する。

路 線 名	管 理 区 間
一般県道富士河口湖富士線	南都留郡富士河口湖町船津から 同郡鳴沢村鳴沢まで

## 第5章 基本財産の額その他資産及び会計

(基本財産の額)

第16条 道路公社の基本財産の額は、1,225,000千円とし、地方公共団体の出資の額は、次のとおりとする。

山梨県 612,500千円

埼玉県 612,500千円

(事業年度)

第17条 道路公社の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(予算等の作成)

第18条 道路公社は、毎事業年度、予算、事業計画及び資金計画を作成し、当該事業年度の開始前に、山梨県知事の承認を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。

(決算)

第19条 道路公社は、毎事業年度の決算を翌年度の5月31日までに完結しなければならない。

(財務諸表及び決算報告書)

第20条 道路公社は、毎事業年度、前事業年度の決算完結後二箇月以内に財務諸表を作成し、監事の監査を経て山梨県知事に提出しなければならない。

2 道路公社は、前項の規定により財務諸表を提出するときは、これに、地方道路公社法施行規則

(昭和45年建設省令第21号)第16条及び第17条で定める事項を記載した当該事業年度の決算報告書を添付し、並びに財務諸表及び決算報告書に関する監事の意見をつけなければならない。

(利益及び損失の処理)

第21条 道路公社は、毎事業年度の損益計算上利益を生じたときは、前事業年度から繰り越した損

失をうめ、なお残余があるときは、その残余の額は、準備金として整理しなければならない。

2 道路公社は、毎事業年度の損益計算上損失を生じたときは、前項の規定による準備金を減額して整理し、なお不足があるときは、その不足額は、繰越欠損金として整理しなければならない。

(余裕金の運用)

第22条 道路公社は、次の方法によるほか、業務上の余裕金を運用してはならない。

- 一 国債又は地方債その他国土交通大臣の指定する有価証券の取得
- 二 銀行その他国土交通大臣の指定する金融機関への預金
- 三 その他国土交通省令で定める方法

#### 第6章 雑則

(運営に関する細則)

第23条 道路公社の運営に関して必要な事項は、この定款及び業務方法書に定めるもののほか、理事長の定めるところによる。

#### 附則

(施行期日)

1 この定款は、道路公社の設立の日から施行する。

(最初の役員の任期)

2 道路公社の最初の役員の任期は、第9条第1項の規定にかかわらず、それぞれ任命権者が定める。

(最初の事業年度)

3 道路公社の最初の事業年度は、第17条の規定にかかわらず、道路公社の設立の日から平成6年3月31日までとする。

(最初の事業年度の予算等)

4 道路公社の最初の事業年度の予算、事業計画及び資金計画については、道路公社の設立後遅滞なく、山梨県知事の承認を受けなければならない。

#### 附則

(施行期日)

この定款は、平成6年8月26日から施行する。

#### 附則

(施行期日)

この定款は、平成7年3月16日から施行する。

附則

(施行期日)

この定款は、平成7年9月13日から施行する。

附則

(施行期日)

この定款は、平成8年12月19日から施行する。

附則

(施行期日)

この定款は、平成9年2月10日から施行する。

附則

(施行期日)

この定款は、平成9年8月29日から施行する。

附則

(施行期日)

この定款は、平成13年12月25日から施行する。

附則

(施行期日)

この定款は、平成15年12月1日から施行する。

附則

(施行期日)

この定款は、平成17年6月7日から施行する。

附則

(施行期日)

この定款は、平成18年5月24日から施行する。

附則

(施行期日)

この定款は、平成19年10月12日から施行する。



出資者及びその出資した金額

令和4年4月1日現在

(単位:千円)

出 資 者	出 資 金 額
山 梨 県	612,500
埼 玉 県	612,500
計	1,225,000

## 山梨県道路公社役員名簿

	定 数	令和4年4月1日現在
理 事	7名	5名
監 事	2名	2名
計	9名	7名

役 職 名	氏 名	就 任 年 月 日	任 期
理 事 長	飯野 照久	令和4年4月1日	令和5年3月31日
専 務 理 事	宮川 一郎	令和4年4月1日	令和5年3月31日
理 事	落合 直樹	令和4年4月1日	令和5年3月31日
理 事	市川 康雄	令和2年4月1日	令和5年3月31日
理 事	山本 盛次	令和4年4月1日	令和5年3月31日
監 事	上野 良人	令和4年4月1日	令和5年3月31日
監 事	高橋 直人	令和3年4月1日	令和5年3月31日

## 令和4年度事業計画について

令和4年度における山梨県道路公社の事業計画は、次のとおりとする。

### 1 有料道路事業

「富士山有料道路(維持管理有料道路)」及び「雁坂トンネル有料道路」の2路線について、維持管理・運営及び利用促進活動を行う。

この2路線は、いずれも本県の観光産業をはじめとする県内経済の発展及び県民生活の利便性向上に寄与するものであり、当公社では管理・運営にあたり、利用者に安全で快適な道路環境を提供するよう努めていく。

富士山有料道路については、新型コロナウイルスの影響により、依然として厳しい状況にあり、コロナ禍前の通行料金収入の確保は見込めないため、必要最低限の事業を執行する。今後は、適切な維持管理に取り組むとともに、コロナ禍の動向を勘案しながら観光客等へのPR活動を推進していく。

雁坂トンネル有料道路については、通行台数に持ち直しの動きがみられるものの、大幅な増加を見込めないことから、積極的な利用促進活動を行うとともに、維持管理費の削減に努め、経営の一層の効率化を図っていく。

(単位:台、千円)

路線名	管理区間	令和4年度		備考
		予定通行台数	予定料金収入	
富士山有料道路	南都留郡富士河口湖町船津から 南都留郡鳴沢村富士山まで 延長24.1km	175,821	187,702	昭和39年4月1日供用開始 昭和52年1月1日河口湖大橋とブルー制導入 平成17年6月6日河口湖大橋とともに料金徴収期間満了 平成17年6月7日維持管理有料開始
雁坂トンネル有料道路	埼玉県秩父市大滝から 山梨県山梨市三富川浦まで 延長6.8km	405,654	297,765	平成10年4月23日供用開始
合計		581,475	485,467	

### 2 有料駐車場事業

都市機能の維持及び生活環境の保全を図るとともに、公衆の利便に資するため、新山梨環状道路の田富高架下の自動車駐車場(平成13年度営業開始)、国道411号城東大橋高架下の自動車駐車場(平成19年度営業開始)及び新山梨環状道路の小井川高架下の自動車駐車場(平成21年度営業開始)の管理・運営及び利用促進活動を行う。

(単位:台、千円)

駐車場名	駐車台数 ※ 駐車台数は、R4.2末の契約区画数	(駐車可能台数)	令和4年度 予定料金収入
田富高架下駐車場	157	(157)	6,312
城東大橋駐車場	79	(104)	3,696
小井川駐車場	81	(89)	2,880
合計			12,888

### 3 受託事業

当公社の管理・運営する有料道路に関連のある業務を山梨県等から受託して実施する。

(単位:千円)

受託内容	令和4年度 予算額	備考
富士河口湖富士線除雪等業務	426	山梨県から冬期の除雪業務を受託 富士山有料道路料金所下の一般県道富士北麓公園線交差点(胎内交差点)から 国道139号交差点(スバル立体) 区間延長4.0km
国道140号維持管理業務	52,841	道路パトロール、監視業務、冬期の路面管理を山梨・埼玉両県から受託 山梨公共区間受託分1.7km(有料道路終点～西沢大橋間) 事業費 26,593千円 埼玉公共区間受託分1.3km(豆焼橋～有料道路起点間) 事業費 26,248千円
国道140号維持修繕業務	206,000	無停電電源装置更新工事、トンネル補修工事
合計	259,267	

#### 4 その他の事業計画

令和4年度のその他の主な事業は次のとおりである。

- (1) 富士山有料道路マイカー規制（48日間実施予定）
- (2) 富士山有料道路渋滞対策（交通誘導、無料連絡バス運行（マイカー規制期間中を除く夏期週末））
- (3) 有料道路利用促進対策
- (4) 有料駐車場利用促進対策

## 令和4年度 収入支出予算

(単位：千円)

収 入			支 出		
予 算 科 目		予 算 額	予 算 科 目		予 算 額
款	項		款	項	
営業収入		500,020	営業費用		731,310
	道路事業収入	487,132		道路管理費	685,906
	駐車場事業収入	12,888		駐車場管理費	11,669
				一般管理費	33,735
営業外収入		10,030	営業外費用		10,000
	利息収入	30		消費税納付金	10,000
	消費税還付収入	10,000			
受託業務収入	受託業務収入	259,267	受託業務費	受託業務費	259,267
諸収入		342,638	改良費		3,283
	その他収入	342,638		機械及び装置購入費等	3,283
			営業外支出		108,095
				借入金償還金	108,095
<b>合 計</b>		<b>1,111,955</b>	<b>合 計</b>		<b>1,111,955</b>

## 令和4年度 資金計画

(単位：千円)

払 出		受 入	
区 分	金 額	区 分	金 額
営業費用	731,310	営業収入	500,020
道路管理費	685,906	道路事業収入	487,132
駐車場管理費	11,669	駐車場事業収入	12,888
一般管理費	33,735		
営業外費用	10,000	営業外収入	10,030
消費税納付金	10,000	利息収入	30
		消費税還付収入	10,000
受託業務費	259,267	受託業務収入	259,267
受託業務費			
改良費	3,283	諸収入	342,638
機械及び装置購入費等	3,283	その他収入	342,638
営業外支出	108,095		
借入金償還金	108,095		
<b>合 計</b>	<b>1,111,955</b>	<b>合 計</b>	<b>1,111,955</b>

令和4年度 収入支出予算説明書

【 収 入 】

(単位：千円)

款	項	目	節	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	増減額	説 明
営業収入				500,020	543,268	△ 43,248	
	道路事業収入			487,132	530,668	△ 43,536	
		富士山有料 道路収入	通行料金	187,702	218,283	△ 30,581	(維持管理有料道路)
		富士山有料 道路雑収入	雑収入	1,457	1,062	395	Mt.富士ヒルクライム使用料、施 設貸付料 等
		雁坂トンネル 有料道路収入	通行料金	297,765	311,107	△ 13,342	
		雁坂トンネル有 料道路雑収入	雑収入	208	216	△ 8	道路占用料 等
	駐車場事業収入			12,888	12,600	288	
		田富高架下 駐車場収入	利用料金	6,312	6,312	0	
		城東大橋駐 車場収入	利用料金	3,696	3,552	144	
		小井川駐車 場収入	利用料金	2,880	2,736	144	
営業外収入				10,030	30	10,000	
	利息収入	預金利息		30	30	0	
	消費税還付 収入	消費税還付 金		10,000	0	10,000	
受託業務収入				259,267	160,886	98,381	
	受託業務収入			259,267	160,886	98,381	
		富士河口湖富士線除雪等 受託業務収入		426	426	0	
		国道140号維持管理受 託業務収入		52,841	53,460	△ 619	
		国道140号維持修繕受 託業務収入		206,000	107,000	99,000	
諸収入				342,638	423,000	△ 80,362	
	その他収入			342,638	423,000	△ 80,362	富士山有料道路の修繕準備引当金 取崩(特別利益) 等
前年度繰越額				0	0	0	繰越準備金
合 計				1,111,955	1,127,184	△ 15,229	

【支出】

(単位：千円)

款	項	目	節	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	増減額	説明
営業費用				731,310	806,341	△ 75,031	
	道路管理費			685,906	761,586	△ 75,680	
		富士山有料道路管理費		450,562	538,461	△ 87,899	
			報酬・給与	22,835	22,746	89	職員4名・本社0.3名・雁坂0.3名、非常勤嘱託1名
			手当等	14,978	14,958	20	職員4名・本社0.3名・雁坂0.3名
			共済費	6,668	6,659	9	職員4名・本社0.3名・雁坂0.3名、非常勤嘱託1名、事務員1名
			賃金	2,311	2,304	7	事務員1名
			旅費	400	400	0	
			需用費	36,328	37,048	△ 720	発電機・自動車燃料代20,160、トイレ消耗品3,078、電気料2,904等
			役務費	6,173	6,116	57	集金手数料1,957等
			委託料	228,142	304,040	△ 75,898	トイレ関連56,767、料金徴収42,218等
			使賃料	7,590	5,835	1,755	
			負担金	4,074	4,074	0	マイカー規制関係3,396等
			修繕費	77,220	92,129	△ 14,909	丸山橋補修工事61,710等
			除雪費	43,340	41,690	1,650	
			雑費	503	462	41	
		雁坂トンネル有料道路管理費		235,344	223,125	12,219	
			報酬・給与	10,364	11,087	△ 723	職員3名(うち1名は富士山有料に0.3人分兼務)
			手当等	7,121	8,187	△ 1,066	職員3名(うち1名は富士山有料に0.3人分兼務)
			共済費	3,408	3,690	△ 282	職員3名(うち1名は富士山有料に0.3人分兼務)、事務員1名
			賃金	2,606	2,444	162	事務員1名
			旅費	273	273	0	
			需用費	46,152	45,780	372	電気料40,711等
			役務費	2,325	2,344	△ 19	
			委託料	130,649	137,562	△ 6,913	料金徴収・監視業務99,697 雁坂トンネル設備更新設計業務委託6,578等
			使賃料	852	805	47	
			負担金	154	154	0	
			修繕費	31,086	10,076	21,010	料金収受機更新27,500等
			除雪費	69	69	0	
			雑費	285	280	5	
			固定資産 除却費	0	374	△ 374	

款	項	目	節	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	増減額	説明
	駐車場管理費			11,669	11,456	213	
		田富高架下駐車場管理費		5,918	5,770	148	
			報酬・給与	502	504	△ 2	本社2名の計0.1人分
			手当等	330	315	15	本社2名の計0.1人分
			共済費	146	125	21	本社2名の計0.1人分
			需用費	132	132	0	
			役務費	366	336	30	
			委託料	165	165	0	清掃業務等管理委託
			使賃料	816	816	0	県有地占用料
			修繕費	3,401	3,342	59	フェンス修繕等
			雑費	60	35	25	
		城東大橋駐車場管理費		3,197	3,165	32	
			報酬・給与	502	504	△ 2	本社2名の計0.1人分
			手当等	330	315	15	本社2名の計0.1人分
			共済費	146	125	21	本社2名の計0.1人分
			需用費	212	212	0	
			役務費	14	14	0	
			委託料	418	418	0	清掃業務等管理委託
			使賃料	805	807	△ 2	県有地占用料
			修繕費	770	770	0	
		小井川駐車場管理費		2,554	2,521	33	
			報酬・給与	502	504	△ 2	本社2名の計0.1人分
			手当等	330	315	15	本社2名の計0.1人分
			共済費	146	125	21	本社2名の計0.1人分
			需用費	363	363	0	
			役務費	89	90	△ 1	
			委託料	165	165	0	清掃業務等管理委託
			使賃料	827	827	0	県有地占用料
			修繕費	132	132	0	



款	項	目	節	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	増減額	説 明
	一般管理費			33,735	33,299	436	
		一般管理費		33,735	33,299	436	
			報酬・給与	13,236	13,325	△ 89	職員3名(うち1名は富士山有料に0.3人分兼務・ 駐車場0.2人分、うち1名は駐車場0.1人分)、専 務理事・総務企画課長(三公社共通)
			手当等	9,774	9,512	262	職員3名(うち1名は富士山有料に0.3人分兼務・ 駐車場0.2人分、うち1名は駐車場0.1人分)、専 務局長・総務企画課長(三公社共通)
			共済費	4,428	4,230	198	職員3名(うち1名は富士山有料に0.3人分兼務・ 駐車場0.2人分、うち1名は駐車場0.1人分)、専 務理事 外3名(三公社共通)
			賃金	500	480	20	総務企画課事務員1名(三公社共通)
			旅費	678	723	△ 45	
			需用費	911	911	0	
			役務費	1,215	1,113	102	
			委託料	89	81	8	
			使賃料	1,740	1,760	△ 20	事務室賃借料(三公社共通経費)等
			負担金	248	248	0	全国地方道路公社連絡協議会負担金等
			修繕費	55	55	0	
			雑費	861	861	0	公認会計士報酬費等
営業外費用				10,000	16,000	△ 6,000	
	消費税納付 金	消費税納付金		10,000	16,000	△ 6,000	
受託業務費				259,267	160,886	98,381	
	受託業務費			259,267	160,886	98,381	
		富士河口湖富士線除雪等 受託業務費		426	426	0	
		国道140号維持管理受 託業務費		52,841	53,460	△ 619	
		国道140号維持修繕受 託業務費		206,000	107,000	99,000	
改良費				3,283	29,700	△ 26,417	
	富士山有料道 路設備改良費	備品購入費 (器具諸備品等)		183	0	183	業務用携帯型無線機
	雁坂トンネル有 料道路設備改良 費	機械及び装 置購入費		0	29,700	△ 29,700	
	雁坂トンネル有 料道路設備改良 費	備品購入費 (器具諸備品等)		2,750	0	2,750	貨幣硬貨入金機
	田富高架下駐 車場設備改良費	機械及び装 置購入費		350	0	350	電話交換設備工事
営業外支出				108,095	114,257	△ 6,162	
	借入金償還金			108,095	114,257	△ 6,162	
		山梨県借入金償還金		108,095	114,257	△ 6,162	雁坂トンネル有料道路のみ
合 計				1,111,955	1,127,184	△ 15,229	

# 令和3年度 山梨県道路公社事業報告書

## 事業報告

### 事業概要

#### 1 有料道路事業

当公社で建設し平成10年4月23日に供用開始した一般有料道路「雁坂トンネル有料道路」（6.8 km）と、平成17年6月6日をもって料金徴収期間が満了となり、富士山の自然環境に配慮した維持管理・修繕等を行うため、平成17年6月7日に維持管理有料道路に移行した「富士山有料道路」（24.1 km）の管理運営を行った。

なお、道路の維持管理に当たっては、利用者が安全で快適に走行できる交通環境の確保に主眼を置いており、中でも「雁坂トンネル有料道路」はその大部分がトンネル（6.6 km）であることから、24時間常駐体制で監視し、維持管理を行った。

#### 2 駐車場事業

平成13年度営業開始の田富高架下駐車場（4,960㎡ 144台）、平成19年度営業開始の城東大橋駐車場（3,297㎡ 104台）及び平成21年度営業開始の小井川駐車場（2,926㎡ 89台）の管理運営を行った。

#### 3 受託事業

- （1）一般県道富士河口湖富士線の富士山有料道路料金所下交差点から、国道139号交差点までの区間の冬期除雪業務を山梨県から受託し実施した。
- （2）雁坂トンネル有料道路に関連する国道140号維持管理業務及び維持修繕業務を山梨県及び埼玉県から受託し実施した。

## 事業実施状況

### 1 有料道路事業

道路名	延長 (km)	令和2年度 通行台数/料金	令和3年度 通行台数/料金	前年比 (%)	摘要
富士山有料道路	24.1	136,850 台 126,779,374 円	182,290 台 179,163,196 円	133.2 141.3	維持管理有料道路(H17.6.7～) マイカー規制を42日間実施
雁坂トンネル有料 道路	6.8	360,053 台 269,641,060 円	386,187 台 288,108,250 円	107.3 106.9	平成10年4月23日供用開始
合計		496,903 台 396,420,434 円	568,477 台 467,271,446 円	114.4 117.9	

### 2 駐車場事業

施設名	施設内容	契約台数 R4.3.31現在	駐車場事業収入 (千円)	摘要
田富高架下駐車場	4,960 m <sup>2</sup> (144 台)	141 台	6,213	平成13年4月1日 営業開始
城東大橋駐車場	3,297 m <sup>2</sup> (104 台)	78 台	3,684	平成19年12月1日 営業開始
小井川駐車場	2,926 m <sup>2</sup> (89 台)	80 台	2,772	平成21年4月1日 営業開始
合計	11,183 m <sup>2</sup> (337 台)		12,669	

### 3 受託事業

事業名	内容	事業費 (千円)	摘要
一般県道富士河口 湖富士線除雪業務	冬期の除雪業務 〔実施区間〕 富士山有料道路料金所下の一般県道富士北麓公園 線交差点(胎内交差点)から国道139号交差点(スバル 立体)までの区間 延長4.0 km	194	山梨県
国道140号維持管 理業務	道路パトロール、監視業務、冬期の路面管理 〔管理区間〕 有料道路起点～豆焼橋間 1.3 km(埼玉県から受託) 西沢大橋～有料道路終点間 1.7 km(山梨県から受託) 計 3.0 km	50,647	山梨県 26,820 千円 埼玉県 23,827 千円
国道140号維持修 繕業務	・無停電電源装置更新工事等	97,790 千円	山梨県
合計		148,631	

# 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	1,142,857,146	I 流動負債	45,267,371
1 現金預金	1,129,039,203	1 未払費用	22,040,739
2 未収金	13,751,900	2 前受金	1,724,000
3 材料及び貯蔵品	66,043	3 その他の流動負債	15,039,352
		4 賞与引当金	6,463,280
II 固定資産	5,000,248,225	II 固定負債	1,073,163,475
1 道路事業資産	4,884,495,754	1 長期借入金	538,134,000
2 駐車場事業資産	6	2 修繕準備引当金	535,029,475
(1) 田富高架下駐車場	3,198,300		
(2) 城東大橋駐車場	1,438,500	III 特別法上の引当金等	3,326,126,129
(3) 小井川駐車場	4,432,950	1 道路事業損失補填引当金	922,822,037
(4) 駐車場資産減価償却累計額	△ 9,069,744	2 償還準備金	2,403,304,092
3 有形固定資産	113,718,698		
(1) 諸設備	438,146,932	<b>(負債合計)</b>	<b>4,444,556,975</b>
① 機械及び装置	241,431,310	IV 基本金	1,225,000,000
② 備品	196,715,622	1 出資金	1,225,000,000
(2) 有形固定資産減価償却累計額	△ 324,428,234	(1) 山梨県出資金	612,500,000
4 無形固定資産	1,916,907	(2) 埼玉県出資金	612,500,000
(1) 諸設備	1,916,907		
① 電話加入権	1,916,907	V 剰余金	473,548,396
5 投資その他の資産	116,860	1 資本剰余金	107,889,552
(1) その他の資産	116,860	(1) 有形固定資産引継財産評価額	17,993,898
① リサイクル預託金	116,860	(2) 無形固定資産引継財産評価額	1,904,907
		(3) その他資本剰余金	87,990,747
		2 準備金	365,658,844
		(1) 繰越準備金	405,342,693
		(2) 当期利益	△ 39,683,849
		<b>(資本合計)</b>	<b>1,698,548,396</b>
合 計	6,143,105,371	合 計	6,143,105,371

# 損 益 計 算 書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 営業費用	655,170,814	I 営業収入	481,958,894
1 道路管理費	618,630,614	1 道路料金収入	469,289,894
(1) 富士山有料道路(維持管理有料)管理費	439,947,035	(1) 富士山有料道路(維持管理有料)料金収入	179,163,196
(2) 雁坂トンネル有料道路管理費	178,683,579	(2) 富士山有料道路雑収入	1,725,600
2 駐車場管理費	7,534,160	(3) 雁坂トンネル有料道路料金収入	288,108,250
(1) 田富高架下駐車場	2,380,394	(4) 雁坂トンネル有料道路雑収入	292,848
(2) 城東大橋駐車場	2,747,496	2 駐車場料金収入	12,669,000
(3) 小井川駐車場	2,406,270	(1) 田富高架下駐車場料金収入	6,213,000
3 一般管理費	29,006,040	(2) 城東大橋駐車場料金収入	3,684,000
		(3) 小井川駐車場料金収入	2,772,000
II 営業外費用	5,707,200		
1 消費税納付金	5,707,200	II 営業外収入	179,579,034
		1 利息収入	13,106
III 特別損失	1,929,207	2 雑収入	219,328
1 過年度損益修正損	1,929,207	3 消費税還付収入	82,600
		4 業務補助金収入	179,264,000
IV 受託業務損	148,631,240		
1 受託業務損	148,631,240	III 受託業務収入	148,631,240
		1 受託業務収入	148,631,240
V 諸減価償却費	24,216,246		
1 有形固定資産減価償却費	24,216,246	IV 特別利益	131,226,780
		1 過年度損益修正益	7,780
		2 その他特別利益	131,219,000
VI 諸引当損	145,425,090		
1 道路事業損失補填引当損	26,191,659		
2 修繕準備引当損	87,085,000		
3 償還準備金繰入額	32,148,431		
VII 当期利益	△ 39,683,849		
合 計	941,395,948	合 計	941,395,948

県からの財政支出の状況(令和3年度)

令和4年3月31日現在

(1)受託業務

(単位:円)

名 称	金 額	備 考
富士河口湖富士線除雪業務受託	192,040	
国道140号維持管理業務受託	26,820,200	埼玉県からの受託分 (23,827,100円)を除く
国道140号維持修繕業務受託	97,789,900	
計 (A)	124,802,140	

令和3年度県財政支出合計

(単位:円)

名 称	金 額	備 考
令和3年度合計 = (A)	124,802,140	

## 法人が対処すべき課題と取り組み状況

### 【これまでの取り組み】

当社は、平成9年4月に県企業局から引き継いだ「八ヶ岳横断有料道路」を平成13年10月9日に無料開放した後、同じく平成9年4月に県企業局から引き継いだ「河口湖大橋有料道路」及び「富士山有料道路」の2路線と、公社で建設して平成10年度に供用を開始した「雁坂トンネル有料道路」及び「清里高原有料道路」の計4路線の料金徴収及び維持管理等を主な事業として営業を行ってきました。

このうち、「河口湖大橋有料道路」及び「富士山有料道路」については、平成17年6月6日をもって料金徴収期間が満了したため、翌6月7日から「河口湖大橋有料道路」を無料開放とし、「富士山有料道路」は、引き続き通行料金を徴収し、富士山の環境保全に配慮した道路の維持管理や補修等を行うことを目的とした維持管理有料道路に移行しております。

また、観光シーズンにおける国道141号の交通渋滞を解消する目的で平成10年度に供用開始した「清里高原有料道路」は、長引く景気の低迷や観光形態の変化などから交通量の実績が計画を下回り、公社の経営に深刻な影響を及ぼしかねなかったことに加え、地域振興等のために早期の無料化を望む声が多かったことから、料金徴収期間を変更して「河口湖大橋有料道路」と同じく平成17年6月7日から無料開放しました。

なお、有料道路事業のほかに、平成13年度から新山梨環状道路の田富高架下において駐車場事業を開始し、その後、平成19年度からは城東大橋高架下で、平成21年度からは新山梨環状道路の小井川駅北側高架下において駐車場事業を開始しました。

一方、この間も、経費の削減等を図るため、平成15年度に土地開発公社及び住宅供給公社と総務部門の統合一元化を行うとともに、無料開放に伴う管理路線の減少と並行して、平成16年度から平成17年度までの2年間で県からの派遣職員4名、事務職員（臨時職員）2名、非常勤嘱託職員1名の合計7名の職員削減を行いました。

更に、平成20年度からは、土地開発公社及び住宅供給公社と一元化して、山梨県地域整備公社（総称）としてスタートし、常任役員を共通役員とするとともに、県からの派遣職員1名削減を図るなど、経営の合理化に努めてきたところであります。

### 【今後の取り組み】

現在、当社では、「雁坂トンネル有料道路」及び「富士山有料道路」の2路線の有料道路と、「田富高架下駐車場」、「城東大橋駐車場」及び「小井川駐車場」の3箇所の駐車場の管理・運営を行っております。

公社経営において大きな比率を占める有料道路事業のうち、まず雁坂トンネル有料道路については、圏央道の開通等の影響もあり、通行台数の減少傾向が続いております。今後も通行台数の回復に向けた利用促進のPR活動を積極的に行うとともに、経営計画に沿って維持管理費等の更なる見直しを行っていくこととしております。

次に、富士山有料道路については、今後も維持管理有料道路の目的を踏まえる中で、富士山の環境にも配慮しながら、維持修繕や安全対策を進めてまいります。また、富士山の環境保全のため、県などと連携を図りマイカー規制の実施に協力するとともに、夏季の渋滞対策を強化してまいります。

また、両有料道路ともに新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい経営状況にあり、コロナ禍前の通行台数及び通行料金収入の回復は見込めないため、積極的な利用促進活動に取り組むとともに、維持管理費の削減に努め、経営の一層の効率化を図っていく必要があります。



# 財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

区 分	摘 要	金 額	区 分	摘 要	金 額
I 流動資産		1,142,857,146	I 流動負債		45,267,371
1 現金預金		1,129,039,203	1 未払費用		22,040,739
(1) 普通預金	(株)山梨中央銀行	1,129,039,203	2 前受金		1,724,000
(2) 定期預金	(株)山梨中央銀行	0	3 その他の流動負債		15,039,352
(3) つり銭準備金		0	4 賞与引当金		6,463,280
2 未収金		13,751,900	II 固定負債		1,073,163,475
(1) 営業未収金	受託業務未収金等	13,567,108	1 長期借入金		538,134,000
(2) 営業外未収金		101,127		山梨県借入金	538,134,000
(3) その他未収金	雇用保険料自己負担分ほか	1,065	2 修繕準備引当金		535,029,475
(4) 未収消費税還付金		82,600		富士山有料道路	383,563,718
3 材料及び貯蔵品		66,043		雁坂トンネル有料道路	151,465,757
(1) 一般貯蔵品		66,043	III 特別法上の引当金等		3,326,126,129
II 固定資産		5,000,248,225	1 道路事業損失補填引当金		922,822,037
1 道路事業資産		4,884,495,754		雁坂トンネル有料道路	922,822,037
	雁坂トンネル有料道路	4,884,495,754	2 償還準備金		2,403,304,092
2 駐車場事業資産		6		雁坂トンネル有料道路	2,403,304,092
(1) 田富高架下駐車場		3,198,300			
(2) 城東大橋駐車場		1,438,500			
(3) 小井川駐車場		4,432,950			
(4) 駐車場資産減価償却累計額		△ 9,069,744			
3 有形固定資産		113,718,698			
(1) 諸設備		438,146,932			
① 機械及び装置		241,431,310			
	通信電灯電力装置	231,257,710			
	その他諸設備	10,173,600			
② 備品		196,715,622			
	器具諸備品	99,171,666			
	諸車	97,543,956			
(2) 有形固定資産減価償却累計額		△ 324,428,234			
4 無形固定資産		1,916,907			
(1) 諸設備		1,916,907			
① 電話加入権		1,916,907			
5 投資その他の資産		116,860			
(1) その他の資産		116,860			
① リサイクル預託金		116,860			
資産合計		6,143,105,371	負債合計		4,444,556,975
			差引正味財産		1,698,548,396

## 固 定 資 産 明 細 表

(単位:円)

固定資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	減価償却累計額			当期末償却未済額
					当期増加額	当期減少額	累計額	
道路事業資産	4,884,495,754	0	0	4,884,495,754	0	0	0	4,884,495,754
雁坂トンネル有料道路	4,884,495,754	0	0	4,884,495,754	0	0	0	4,884,495,754
建設費	4,884,495,754	0	0	4,884,495,754	0	0	0	4,884,495,754
建物	396,662,552	0	0	396,662,552	0	0	0	396,662,552
構築物	1,788,365,925	0	0	1,788,365,925	0	0	0	1,788,365,925
機械及び装置	2,699,467,277	0	0	2,699,467,277	0	0	0	2,699,467,277
駐車場事業資産	9,069,750	0	0	9,069,750	0	0	9,069,744	6
田富高架下駐車場設備	3,198,300	0	0	3,198,300	0	0	3,198,298	2
城東大橋駐車場設備	1,438,500	0	0	1,438,500	0	0	1,438,499	1
小井川駐車場設備	4,432,950	0	0	4,432,950	0	0	4,432,947	3

(単位:円)

固定資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	減価償却累計額			当期末償却未済額
					当期増加額	当期減少額	累計額	
有形固定資産	417,449,642	22,618,990	1,921,700	438,146,932	24,223,753	0	324,428,234	113,718,698
富士山有料道路	170,346,052	0	1,921,700	168,424,352	1,392,424	0	164,816,501	3,607,851
備品	170,346,052	0	1,921,700	168,424,352	1,392,424	0	164,816,501	3,607,851
器具諸備品	84,953,593		1,921,700	83,031,893	551,002	0	79,944,156	3,087,737
諸車	85,392,459	0	0	85,392,459	841,422	0	84,872,345	520,114
雁坂トンネル有料道路	244,968,720	22,618,990	0	267,587,710	22,474,806	0	158,690,715	108,896,995
機械及び装置	218,812,320	22,618,990	0	241,431,310	22,069,724	0	134,488,009	106,943,301
通信電灯電力装置	208,638,720	0	0	208,638,720	22,069,724	0	132,453,289	76,185,431
その他諸設備	10,173,600	22,618,990	0	32,792,590	0	0	2,034,720	30,757,870
備品	26,156,400	0	0	26,156,400	405,082	0	24,202,706	1,953,694
器具諸備品	16,139,773	0	0	16,139,773	31,128	0	16,020,213	119,560
諸車	10,016,627		0	10,016,627	373,954	0	8,182,493	1,834,134
田富高架下駐車場	2,134,870	0	0	2,134,870	356,523	0	921,018	1,213,852
備品	2,134,870	0	0	2,134,870	356,523	0	921,018	1,213,852
諸車	2,134,870	0	0	2,134,870	356,523	0	921,018	1,213,852

内訳 当期増加額 雁坂トンネル有料道路 無線設備更新 22,618,990

当期減少額 富士山有料道路 過年度修正(固定資産計上額の修正) 1,921,700

(単位:円)

固定資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期減価償却額	当期末現在高
無形固定資産	1,916,907	0	0	0	1,916,907
富士山有料道路	1,835,967	0	0	0	1,835,967
電話加入権	1,835,967	0	0	0	1,835,967
雁坂トンネル有料道路	80,940	0	0	0	80,940
電話加入権	80,940	0	0	0	80,940
投資その他の資産	122,310	7,020	12,470	0	116,860
その他の資産	122,310	7,020	12,470	0	116,860
リサイクル預託金	122,310	7,020	12,470	0	116,860

## 長期借入金明細表

(単位:円)

借入先	借入事業名	借入年月日	借入金額	期首残高	償還額		期末残高	利率	償還終期
					当期償還額	償還額累計			
国土交通省	雁坂トンネル 有料道路	H 9. 3.31	560,000,000	0	0	560,000,000	0	-	H28.3
		H 9. 4. 1	540,000,000	0	0	540,000,000	0	-	H29.3
		H 9. 5.23	860,000,000	0	0	860,000,000	0	-	H29.3
		計	1,960,000,000	0	0	1,960,000,000	0		
地方公共団体 金融機構	雁坂トンネル 有料道路	H10. 3.25	537,500,000	0	0	537,500,000	0	2.250	H27.3
		H10. 3.25	687,500,000	0	0	687,500,000	0	2.250	H27.3
		計	1,225,000,000	0	0	1,225,000,000	0		
㈱山梨中央銀行	雁坂トンネル 有料道路	H 9. 3.31	152,500,000	0	0	152,500,000	0	2.225	H26.3
		H10. 2.18	337,500,000	0	0	337,500,000	0	2.225	H27.3
		計	490,000,000	0	0	490,000,000	0		
山梨県	雁坂トンネル 有料道路	H24. 4. 2	322,555,000	0	0	322,555,000	0	-	R10.3
		H25. 5.23	269,164,000	176,143,000	114,257,000	207,278,000	61,886,000	-	R10.3
		H26.6.13	376,975,000	376,975,000	0	0	376,975,000	-	R10.3
		H27.6.22	69,899,000	69,899,000	0	0	69,899,000	-	R10.3
		H28.6.29	29,374,000	29,374,000	0	0	29,374,000	-	R10.3
		計	1,067,967,000	652,391,000	114,257,000	529,833,000	538,134,000	-	R10.3
合 計			4,742,967,000	652,391,000	114,257,000	4,204,833,000	538,134,000		

【法人の概要】

代表者名	理事長 飯野 照久	所管部(局)課	県土整備部 道路整備課		
所在地	甲府市丸の内2-14-13	電話番号	055-226-3835		
ホームページURL	<a href="http://tollgate.on.arena.ne.jp/index2.html">http://tollgate.on.arena.ne.jp/index2.html</a>	E-mailアドレス	yamanashi@tollgate.on.arena.ne.jp		
資本金(基本財産)	1,225,000 千円	設立年月日	平成5年6月1日		
主な出資者等	出資順位	出資者名等		出資額	出資比率
	1	山梨県		612,500 千円	50.0 %
	2	埼玉県		612,500 千円	50.0 %
	3			千円	0.0 %
	4			千円	0.0 %
	5			千円	0.0 %
	6			千円	0.0 %
	7			千円	0.0 %
	8			千円	0.0 %
	9			千円	0.0 %
	10			千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)		千円	0.0 %
その他			千円	0.0 %	
			1,225,000 千円		
設 目 経 概 況	立 的 緯 等	山梨県の区域及びその周辺地域において、有料道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とする。現在、維持管理有料道路である富士山有料道路及び一般有料道路である雁坂トンネル有料道路の2路線を管理運営するとともに、田富高架下駐車場、城東大橋駐車場及び小井川駐車場の管理運営等を行っている。			

【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業1 有料道路事業	「雁坂トンネル有料道路」及び平成17年6月7日に維持管理有料道路となった「富士山有料道路」の維持管理等	906,393	590,242	647,081
事業2 駐車場事業	田富高架下駐車場(4,800㎡)、城東大橋駐車場(3,297㎡)及び小井川駐車場(2,926㎡)の管理運営	5,893	6,929	8,090
事業3 受託事業	雁坂トンネル有料道路に関連する国道140号維持管理業務、及び富士山有料道路料金所下交差点から国道139号交差点までの除雪業務	147,927	157,261	148,631

【組織】

各年度 4月1日現在	令和 2 年度					令和 3 年度					令和 4 年度								
	職 員	プロ パー	県 職 員 派 遣	県 職 員 兼 務	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パー	県 職 員 派 遣	県 職 員 兼 務	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パー	県 職 員 派 遣	県 職 員 兼 務	県 O B	そ の 他	
役員等	1			1			1			1			1				1		
理事(常勤)	1			1			1			1			1				1		
理事(非常勤)	4			4			4			4			4				4		
監事(常勤)	0						0			0			0				0		
監事(非常勤)	2			2			2			2			2				2		
評議員	0						0			0			0				0		
計	7	0	0	6	1	0	7	0	0	6	1	0	7	0	0	6	1	0	
職員	3			3			3			3			3				3		
管理職	3			3			3			3			3				3		
一般職員	8			8			8			8			8				8		
臨時職員	2	/	/	/		2	2	/	/	/		2	2	/	/	/		2	2
非常勤職員	1	/	/	/		1	1	/	/	/		1	1	/	/	/		1	1
計	14	0	11	0	0	3	14	0	11	0	0	3	14	0	11	0	0	3	
令和3年度 プロパー職員の 年齢構成 (令和4年4月1日現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計											
	男性							0	役員勤				※					(千円)	
	女性							0	職常員勤				※					(千円)	
	合計	0	0	0	0	0	0	0					46.0					6,351	

※個人の年齢、年収が容易に推定できるため不記載

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減
収支状況	営業収益	1,263,941	777,535	809,854	32,320
	売上高	1,263,941	777,535	809,854	32,320
	受託事業収入	147,928	157,261	148,631	△ 8,630
	自主事業収入	1,116,013	409,844	481,959	72,115
	補助金収入	0	210,430	179,264	△ 31,166
	その他の収入	0	0	0	0
	営業外収入	15,110	8,180	315	△ 7,865
	運用益収入	37	24	13	△ 11
	その他の収入	15,073	8,156	302	△ 7,853
	経常収入 計	1,279,051	785,715	810,169	24,454
	営業費用	1,457,795	842,058	973,444	131,387
	売上原価	883,449	568,978	626,165	57,187
	販売及び一般管理費	574,346	273,080	347,279	74,200
	人件費	93,954	87,425	86,220	△ 1,205
	その他の費用	480,392	185,655	261,059	75,404
	営業外費用	29,203	18,831	5,707	△ 13,124
	経常支出 計	1,486,998	860,889	979,151	118,261
	経常利益(損失)	△ 207,947	△ 75,174	△ 168,982	△ 93,810
	経常外収入(特別利益)	234,381	59,410	131,227	71,817
	経常外支出(特別損失)	12	0	1,929	1,929
法人税等	0	0	0	0	
当期純利益(損失)	26,422	△ 15,764	△ 39,684	△ 23,920	
前期繰越利益(損失)	0	421,107	405,343	△ 15,764	
当期末処分利益(損失)	26,422	405,343	365,659	△ 39,684	
利益準備金・積立金等	0	0	0	0	
次期繰越利益(損失)	421,107	405,343	365,659	△ 39,684	

(単位:千円)

項 目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減
財務状況	流動資産	1,427,040	1,328,972	1,142,857	△ 186,115
	固定資産	5,023,159	5,003,775	5,003,248	△ 526
	資産 計	6,450,199	6,332,747	6,146,105	△ 186,642
	流動負債	93,072	95,174	45,267	△ 49,907
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	4,603,130	4,499,341	4,399,289	△ 100,052
	うち長期借入金	760,304	652,391	538,134	△ 114,257
	負債 計	4,696,202	4,594,515	4,444,556	△ 149,959
	資本金	1,225,000	1,225,000	1,225,000	0
	資本剰余金	107,890	107,890	107,890	0
利益剰余金	421,107	405,343	365,659	△ 39,684	
資本金 計	1,753,997	1,738,233	1,698,549	△ 39,684	

(単位:千円)

項 目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減
県の財政的関与の状況	負担金	0	0	0	0
	人件費補助金	0	0	0	0
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	0	210,430	179,264	△ 31,166
	補助金 計	0	210,430	179,264	△ 31,166
	人件費委託金	0	0	0	0
	人件費以外の委託金	124,614	132,825	124,804	△ 8,021
	委託金 計	124,614	132,825	124,804	△ 8,021
	県支出金 計	124,614	343,255	304,068	△ 39,187
県の財政的関与の割合(%)	9.7	43.7	37.5	△ 6.2	
県貸付金残高	760,304	652,391	538,134	△ 114,257	
県債務負担実際残高	0			0	

【県の財政的関与の状況(令和3年度)】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金(運営費)	
補助金(事業費)	富士山有料道路管理費補助金 179,264千円
委託金	一般県道富士河口湖線冬期除雪業務委託 194千円 国道140号維持管理業務委託 50,647千円 国道140号維持修繕業務委託 97,790千円
県債務負担実際残高	